

夢のつばさプロジェクト

2021 冬クリスマス企画 学生報告書

【日程】2021年12月11日(土)

【開催地】

- 盛岡
・会場：アイーナ・いわて県民情報交流センター
- 仙台
・会場：仙台市生涯学習支援センター
- 郡山
・会場：郡山市市民交流プラザ

【参加者】

子ども：小学生1名、中学生6名、高校生3名
当日運営スタッフ：現役学生7名、OBOG 5名

◆2021 クリスマス企画について

新型コロナの感染拡大に伴い、2019年の冬キャンプ以来、春秋の交流会・夏冬のキャンプは長らく開催することが出来ませんでした。今回は、短い時間ではございましたが、多くの方々のご支援・ご協力を賜り、子どもたちと直接会って行う企画を開催することができました。お力添えをいただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

今回の企画は何より、対面でのコミュニケーションを通して夢のつばさとの繋がりを改めて感じてもらうことを最大の目的として、始動いたしました。2020年度以降に夢のつばさのスタッフとなった学生にとっては、子どもたちの顔を初めて直接見る機会となり、学生にとっても非常に貴重な時間となりました。尚、今回は感染対策のため、一か所に集合することをやめて盛岡・仙台・郡山の別会場にて開催をいたしました。以下にその詳細をご報告いたします。

◆スケジュール・概要

時間	子どもたちの動き
14:00	開会式（各会場毎）
14:05	メッセージ企画（約15分）
14:20	サンタからのプレゼント
14:23	Zoomで各地を繋ぐ時間
14:27	閉会式
14:30	解散

◆子どもたちの様子

最初は久々の対面で少し緊張している様子の子どもたちでしたが、会場へ向かいな

がそれぞれに学校のことや最近ハマっているものなどについて話しているうちに、緊張もほぐれていったようでした。

メッセージを書く企画にもみんな積極的に参加してくれて、当日その場には参加できなかった夢のつばさのスタッフへメッセージを書いている子もいました。また、サンタ姿に扮したスタッフからクリスマスプレゼントを受け取った子どもたちはそれぞれとても嬉しそうでした。途中、現地に来ていないスタッフが Zoom に登場するというサプライズもあり、コロナ禍でも途切れることのない夢のつばさの絆を感じてもらえたのではないかと思います。

最後には子どもたち、スタッフ共に会の終了を惜しみながらの解散となりました。参加した子どもたちからは「会えて嬉しかった」「夢のつばさの全員でも早く集まりたい」との感想が挙がりました。



◆クリスマス企画を終えて

今回のクリスマス企画は、約 2 年ぶりの夢のつばさでの対面の活動となりました。コロナ禍ではありますが、感染状況が落ち着いた時期に無事にクリスマス企画を開くできたことを本当に嬉しく思います。当日までコロナがまた増えてくることを心配したり、直前に学校行事などのためのキャンセルも数名もあって慌てましたが、久しぶりに子どもたちと会うことができ、参加して下さった OBOG の皆さんが子どもたちの成長に驚いたり、嬉しそうにお話ししたりしている姿があり、とても温かい気持ちになりました。また、多くの学生にとっては初めて子どもたちと会う貴重な機会になり、これまでバースデーカードを送ったり、オンラインで交流したりしてきた子どもたちと実際に会えたことが嬉しく、また会いたいという声が多く聞かれました。

今回の企画は、感染対策のために郡山、仙台、盛岡の3カ所で、30分という短い時間での開催ではありましたが、zoomで各開催場所とオンライン参加のスタッフの皆さんをつないでお話しすることもでき、改めて多くの皆さんが夢のつばさに関わっていること、温かなつながりがあることを感じる事ができました。会えない期間が長く



続きましたが、こうして再び顔を合わせて充実した時間を過ごすことができたのは、コロナ禍においてもできることを考え、試行錯誤してきた成果でもあると思います。コロナ禍の終わりが見えず、次に会う約束をすることが難しい状況ではありますが、一日も早く子どもたちとスタッフの皆さんで一堂に集まることを願っております。

最後になりますが、今回のクリスマス企画を無事に終えることができたのは、感染対策をはじめ多くのご指導をいただいた社会人スタッフの方々や、活動を支えてくださる個人支援者や企業の皆様のおかげです。今回もクリスマスプレゼントはサンリオさまがご提供くださいました。いつもご協力くださる皆様があつて、私たちが夢のつばさでの活動を続けることができます。この場をお借りして感謝の気持ちをお伝え申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学生代表 お茶の水女子大学2年 真田さゆり